

状態と状態変化における「起点」の認知—「から」と“从”を中心に—

中国人民大学 王軼群

1. はじめに

日本語の格助詞「から」と中国語の前置詞“从 (cóng)”が対応していることが一般的に思われている。たとえば、次の(1)~(4)である。

- (1) a. 太郎が部屋から出る。
b. 太郎从屋里出来。
- (2) a. 太郎がポケットから財布を出す。
b. 太郎从口袋里掏出钱包。
- (3) a. 娘が眠りから覚める。 [村木(2000)]
b. 女儿从睡梦中醒来。

だが、「から」と“从”は、細かく見ると対応しない場合もある。たとえば、次の(4)~(6)である。

- (4) a. 隣から火が出た。
b.*从隔壁着火了。
c. 隔壁着火了。
- (5) a. 矢が的からそれた。
b.*箭从靶子偏离了。
c. 箭偏离了靶子。
- (6) a. 学校は駅から遠い。
b.*学校从学校远。
c. 学校离学校远。

では、「から」と“从”は、どういう場合に対応し、どういう場合に対応しないのか。そしてそれはなぜだろうか。

2. 状態と状態変化を表す「から」と“从”

状態と状態変化の表現においては、「から」と“从”が対応する場合と対応しない場合がある。上で挙げた例(3)は対応する場合であるが、以下 2.1~2.3 で対応しない場合を見てみる。

2.1 出現・発生を表す場合

- (7=4) a. 隣から火が出た。
b.*从隔壁着火了。
c. 隔壁着火了。
- (8) a. 空から雨が降ってきた。
b.*从天空下起雨来。

c. 天空下起雨来。

出現・発生とは、モノやデキゴトが見えない状態から見える状態への変化のことである。火や雨の出現・発生は、まだ火や雨が出ていない初期状態から、もう火や雨が出ている結果状態への変化であるが、これは火や雨そのものの状態変化とはとらえにくい。というのは、火や雨が出ていない状態は、火や雨が見えないために、火や雨の何らかの状態とは考えにくいからである。

この場合、日本語で起点として表現されている「隣」や「空」の状態は、火や雨の状態変化の初期状態とはとらえられにくい。この場合の起点は日本語の「から」によって示すことができるが、中国語の“从”では示すことができない。次の(9)も同様である。

(9) a. 煙突から煙が出た。

b. ??从烟囱冒烟了。

c. 烟囱冒烟了。

しかし、状況設定によっては、“从”の文が「から」の文と同様、自然なこともある。たとえば(10)の描写文は不自然ではない。

(10) 从工厂高高的烟囱中冒出了滚滚的黑烟。

(工場の高い煙突から黒い煙がもくもくと出た。)

これは、モノのない状態をクローズアップし注目させることによって、それをモノの初期状態として捉えやすくなるからと考えられる。

したがって、変化の起点がモノの状態変化の初期状態としてとらえにくい場合、「から」と“从”は対応せず、とらえやすい場合、「から」と“从”は対応する。

原料を表す「から」や原因を表す「から」は出現・発生を表す「から」と同様に考えられる。

(11) a. 米から酒を造る。

b. *从米造酒。

c. 用米造酒。

(12) a. 極度の緊張から疲れてしまった。

b. *从极度的紧张而疲累。

c. 因极度的紧张而疲累。。

2.2 消滅を表す場合

(13) a. 財布から一万円がなくなった。

b. ??一万日元从钱包里没（消失）了。

c. 钱包里少了一万日元。

一万円の消失は、一万円が存在する初期状態から一万円がなくなった結果状態への、一万円の状態変化とはとらえにくい。というのは、一万円がなくなったという結果状

態は、一万円が存在していないため「一万円の状態」とはとらえにくいからである。

状況設定によっては、「モノのない状態」がモノの状態として強く意識され、モノの消滅というデキゴトがモノの「ある状態から、ない状態へ」という状態変化としてとらえられやすい場合、“从”の文も自然になる。たとえば今まで財布にあった一万円が奇術師に術をかけられ、消滅したのを見て、観衆が次の(14)のように言うのは不自然ではない。

(14) 刚才的一万日元竟然眼看着从钱包里没了。

(さっきの一万円は、なんと見ているうちに財布からなくなった。)

「壁塗り代換構文」における「から」と“从”の不对応も同様に説明できると思われる。

(15) a. グラスから酒を一息に飲み干す。 [奥津(1996)]

b.?? 一口气从酒杯里喝干酒。

c. 一口气喝干酒杯里的酒。

(16) a. グラスを一息に飲み干す。

b. 一口气喝干酒杯。

2.3 基準点・基点を表す場合

(17) a. 矢が的からそれた。

b.*箭从靶子偏离了。

c. 箭偏离了靶子。

(17a)が表したのは、矢が移動前の初期状態から移動後の結果状態への状態変化ではなく、矢が移動した位置と基準点の的との食い違いだということである。文中の「から」が示した起点「的」は、矢が移動前の初期状態ではなく、矢が移動していくべき基準点である。状態変化の初期状態ではないため、“从”の文は不自然になる。

(18) a. 学校は駅から遠い。

b.*学校从学校远。

c. 学校离学校远。

学校と駅との地理関係は、状態ではあるが、状態変化ではないため、“从”の文で表現できない。

「から」は空間的隔たりの基点を表す一方、抽象的な隔たりの基点を表す方向へも意味が拡張されている。

(19) a. 車を盗難から防ぐ。

b.*从被盗防止车辆。

c. 防止车辆被盗。

盗難は車の状態変化の初期状態ではなく、車との間にある隔たりの基点であるため、

“从”の文では言えない。

4. まとめ

① 状態と状態変化を表す場合は、日本語の「から」に中国語の“从”は対応しないことが多い。

② 「から」と“从”が対応しないのは、「モノの不在状態」が「モノの状態」ととらえられにくい場合である。

③ 中国語の“从”は日本語の「から」より、「モノの不在状態」を「モノの状態」と見なすための条件が厳しい。

参考文献

池上嘉彦(1981)『「する」と「なる」の言語学』大修館書店

影山太郎編(2001)『日英対照 動詞の意味と構文』大修館書店

定延利之(2002)「時間から空間へ?—<空間的分布を表す時間語彙>をめぐって=生
越直樹(編)『シリーズ言語科学4 対照言語学』東京大学出版会

三宅知宏(1995)「ヲとカラ—起点の格標示—」『日本語類意表現の文法(上)』宮島
達夫・仁田義雄編 くろしお出版

中右実(1998)『構文と事象の構造』研究社

中川正之(1996)『はじめての人の中国語』くろしお出版

奥津敬一郎(1996)『拾遺 日本文法論』ひつじ書房

村木新次郎(2000)「格」『日本語の文法1 文の骨格』岩波書店

山梨正明(1995)『認知文法論』ひつじ書房

吕淑湘(1980)『现代汉语八百词』商务印书馆